

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		地域包括ケア病床等への転換が促され在宅医療の実施体制強化が図られる。									
指標	指標名									指標の種類	
	指標式									成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）										
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度		
	目標a										
	実績b			データ等の出典							
	東北 全国										
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月											
指標	指標名									指標の種類	
	指標式									成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）										
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度		
	目標a										
	実績b			データ等の出典							
	東北 全国										
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月											
指標を設定することができない場合の効果の把握方法											
指標を設定することが出来ない理由											
地域医療構想の策定に伴い必要な病床機能とその病床数が示されるため、現時点では設定することが出来ない。											
見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)											
地域包括ケア病床等、在宅医療に必要な病床の増加が見込まれる。											

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	在宅医療の促進のためには地域包括ケア病床等への病床機能の転換を図る必要があり、そのために必要な施設や設備の整備を行う必要がある。
住民ニーズに照らした事業の必要性	地域包括ケア病床等に必要施設や設備の経費に対し助成をすることで、より病床機能の転換が促進される。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
県が策定する地域医療構想を達成するためには、県が主体となって事業を推進する必要があるため。	

		政策評価委員会意見	
		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定	
		重点事業 其他	